

**[水と土の芸術祭2018パスポート]**

3つの有料会場[大かま 万代島多目的広場(屋内)、NSG美術館、天寿園(屋内会場)]に入場できるパスポートがおすすめです!

有料会場	大かま 万代島多目的 広場(屋内)	NSG美術館	天寿園 (屋内会場)
パスポート	前売	一般1,200円、学生 <sup>※1</sup> ・65歳以上 <sup>※2</sup> 800円	
	当日	一般1,500円、学生 <sup>※1</sup> ・65歳以上 <sup>※2</sup> 1,000円	
半額チケット (当日券のみ)	一般	1,000円	700円 300円
	学生 <sup>※1</sup> ・65歳以上 <sup>※2</sup>	700円	500円 200円

※1 学生:高校生、大学生、短大生、大学院生、専門学校生  
 ※2 65歳以上:利用日時点  
 次に該当する場合は無料 ○中学生以下 ○身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを提示した方及びその介助者1名

有効期限  
 2018年7月14日(土)～10月8日(月・祝)

販売場所  
 セブンチケット、チケットぴあ、メイン会場、サテライト会場、新潟駅万代口観光案内センター、新潟市美術館、新潟市水族館<マリニピア日本海>ほか新潟市内文化施設など  
 ※メイン会場、サテライト会場は7月14日(土)から販売



**パスポート特典**

**パスポートの提示による特典**  
 ・旧齋藤家別邸に団体料金で入館可  
 ・北方文化博物館新潟分館に団体料金で入館可  
 有効期限:2018年7月14日(土)～10月8日(月・祝)

**有料会場3か所のスタンプを押したパスポートの提示による特典**  
 ・新潟市水族館<マリニピア日本海> 入場無料  
 ・新潟市歴史博物館<みなとびあ> 常設展 観覧無料  
 ・旧小澤家住宅 観覧無料  
 ・新潟鉄道資料館 観覧無料  
 有効期限:2018年7月14日(土)～2019年3月31日(日)

※パスポート1枚につき、記名した1名様1回限り有効です。  
 (北方文化博物館新潟分館は回数制限無し)パスポート特典以外の特典との併用はできません。

**[会場]**

- エリア別**
- メイン会場**
  - [メイン会場] 万代島多目的広場
  - 新潟駅CoCoLo西N+
  - 信濃川やすらぎ堤
  - [サテライト会場] ゆいぽーと
  - 新潟市芸術創造村・国際青少年センター
- NSG美術館**
  - 砂丘館
  - 安吾風の館
  - 旧齋藤家別邸
  - 北方文化博物館新潟分館
  - 新潟市美術館
  - 西海岸公園
  - 関分記念公園
- 天寿園**
  - 旧栗ノ木排水機場
  - 清五郎淵
- その他のエリア**
  - 新潟美術館 前庭
  - 上堰湯公園
  - 角田浜



**移動には、みずつちシャトルが便利**  
 会期中、メイン会場の万代島多目的広場と砂丘エリアをむすびみずつちシャトル便を運行します。  
 路線:メイン会場-新潟市美術館前-サテライト会場-NSG美術館前-砂丘館前-NEXT21前-メイン会場  
 料金は1回200円  
 ※水と土の芸術祭2018公式ガイドブック提示で乗車無料です。  
 ※中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は乗車無料です。

**新潟駅～メイン会場はバスで約15分**  
 新潟駅万代口バスターミナルより佐渡汽船(佐渡汽船)行(3番線)または、「新潟市観光循環バス」赤鷲メッセ先回りコース(2番線)乗車、「赤鷲メッセ」下車。

**おもてなしもあるき(8日前までに予約)**  
 会期中、新潟駅とメイン会場間を新潟の文化を楽しく学びながら移動できるまちあるきを実施します。  
 コース:新潟駅-メイン会場 料金は500円 所要時間:約90分  
 ガイド:新潟市観光ガイド 申込み:025-225-2025  
 ※メイン会場拝見日とまちあるきイベント実施日は別  
 ※1日2回実施、午前10:30出発、午後1:30出発

**[新潟市へのアクセス]**

- 新幹線でお越しの方**  
 東京から-[上越新幹線で新潟駅下車]約2時間 大阪から-[東海道・上越新幹線で新潟駅下車]約5時間
- 飛行機でお越しの方**  
 札幌から-[新千歳空港-新潟空港]約1時間15分 成田から-[成田国際空港-新潟空港]約1時間5分  
 大阪から-[伊丹空港-新潟空港]約1時間 福岡から-[福岡空港-新潟空港]約1時間30分
- 自動車(高速道路)でお越しの方**  
 東京方面から-[関越・北陸自動車道/関越IC-長岡JCT-新潟西IC]約3時間20分  
 大阪方面から-[名神高速道路-北陸自動車道/吹田IC-米原JCT-新潟西IC]約6時間20分

**[公式ガイドブック]**

- 2018年6月26日(火)発売
- 1,000円(税込)
- フルカラー148ページ
- 新潟県内及び都内書店、新潟市内の文化施設や飲食店での割引など多数の特典付!

【お問い合わせ】 水と土の芸術祭2018実行委員会事務局  
 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町502番地1(新潟市文化創造推進圏内)  
 Tel:025-226-2629 Fax:025-226-0050 E-mail:info@mizu-tauchi.jp



# 水と土の 芸術祭

Water and Land  
Niigata Art Festival 2018

# MEGA BRIDGE

つながる。出会い。交わり合。







# 水と土の芸術祭

Water and Land  
Niigata Art Festival 2018

つながる。出会う。交ざり合う。

会期／2018年7月14日[土]～10月8日[月・祝] 計87日間  
会場／[メイン会場] 万代島多目的広場  
[サテライト会場] ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター  
ほか新潟市全域  
主催／水と土の芸術祭2018実行委員会  
後援／総務省、経済産業省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館  
助成／平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、公益財団法人日本財団、一般財団法人地域創造、  
担保ジャパン日本興業「SOMPOアート・ファンド」(企業メセナ協議会 2021 Arts Fund)、  
公益財団法人朝日新聞文化財団

総合ディレクター：谷 新(美術評論家)  
アート・ディレクター：塩田 純一(前新潟市美術館館長)  
市民プロジェクト・ディレクター／子どもプロジェクト・ディレクター：藤 浩志(秋田公立美術大学副学長/美術家)

2009年から始まり今年第4回展を迎える「水と土の芸術祭」は、「私たちはどこから来て、どこへ行くのか～新潟の水と土から、過去と現在(いま)を見つめ、未来を考える～」という基本理念のもと「メガ・ブリッジ一つなく新潟、日本に世界に―」というコンセプトで臨みます。信濃川、阿賀野川の両大河、日本最大級の砂丘列、潟湖、そして日本最大級の穀倉地帯。他に類を見ない新潟の特長を、国内外で活躍するアーティストと協働する市民とともにアピールし、これまでにない新しい新潟の魅力を生み出していきたいと思えます。

水と土の芸術祭2018 総合ディレクター 谷 新

## ART アートプロジェクト

新潟の自然の成り立ちは「水」と「土」に象徴されます。それは「水と土」をテーマとした「四元素」を思わせます。そこは豊かでバラエティーに富んだ「生命」の誕生をうながし育みました。今回のアートプロジェクトは、こうした「四元素」を素材やテーマにし、生命感あふれる表現や人間のいのちの歴史などを表現した作品によって構成されます。また、かつて北前船の最大の寄港地であった新潟は、日本海を囲むアジア諸国をつなぐ日本の玄関口として貿易や文化交流で栄えてきました。この「四元素」とそれによって育まれる生命、「環日本海」という2つの大きな柱を基本コンセプトに、今日いっそう注目されるようになった、専門的な美術の枠を超えた自由な表現である「アール・ブリュット」などへの取り組みを含め、日本の各地域、さらには日本海から世界に向かって、メガ・ブリッジ(大きな架け橋)をかけていくという考え方に立っています。

塩田 純一 / 『毎まりのかたち―架橋173』2017  
photo: Hiidekazu Ogimura

松井 繁樹 / 『君の天井は僕の床/One Man's Ceiling Is Another Man's Floor』(皇田市美術館蔵・2011年)

山内 光俊 / 『高曲』2018

各会場の参加アーティスト  
[メイン会場]＝伊藤 公康、岩崎 貴宏、遠藤 利克、大西 康明、塩田 千春、ナヴィン・ラワンチャイケン、松井 繁樹、藤本 伸 【新潟県CoCoLo西N+】＝関島 領一  
[信濃川やすらぎ場]＝ジャマ・ブレンサ 【サテライト会場】＝伊藤 達平、丑久保 健一、占部 史人、角地 智史、飯田 清子、高見沢 美穂、富井 大裕  
[NSG美術館]＝荒井 雄、伊藤 達平、伊藤 知香、梶井 照隆、セルゲイ・ヴァセネン、高見沢 美穂、澤 逸舟、柳 俊彦  
[砂丘館]＝青木 野枝、池内 晶子、遠藤 利克、古川 知泉、山本 糾 【安吾風の家】＝星野 暁 【旧齋藤家別荘】＝青木 千枝、星野 暁  
[北方文化博物館新潟分館]＝荒井 雄×柳 俊彦(コラボレーション企画) 【新潟市美術館】＝古川 知泉、星野 暁 【西海岸公園】＝南川 祐輝 【関分記念公園】＝菅 崇貴  
[天寿園]＝折元 立身、澤 逸舟、山内 光枝 【旧栗ノ木湧水機囃】＝青木 野枝、磯辺 行久 【清五郎湯】＝日比野 克彦 【新潟美術館 前庭】＝高田 洋一  
[上堰湯公園]＝土屋 公純 APT(＝アートプロジェクトチーム) 田原 唯之、木村 恒介 【角田浜】＝浅原 克己

## CITIZEN 市民プロジェクト

市民自ら企画・運営を行う、市民と地域が主役のプロジェクトです。公募によって選ばれた、「水と土」をテーマとした84もの多様で多彩なプロジェクトには、新潟に生まれ、新潟で暮らす市民だからこそ見える歴史や暮らし文化の魅力が詰まっています。市民と一緒に参加し、新たな新潟の魅力を体験してください。今回の芸術祭では、それぞれのプロジェクトの連携やアートを活用して地域の課題に取り組む「地域拠点プロジェクト」を立ち上げ、新たな可能性にもチャレンジしています。

水と土の文化創造都市市民プロジェクト2018  
市民アートプロジェクト2018

水と土の芸術祭2018 photo: Osamu Nakamura

水と土の芸術祭2018 市民アートプロジェクト2018 photo: ISOMI MORE SUP-STORE

## KIDS 子どもプロジェクト

こどものためのワークショップなど、創造の喜びや驚きを体験することができきるプログラムです。芸術を通して地域の歴史や文化への理解を深め、こどもたちの個性と創造性を育みます。

水と土の芸術祭2018 photo: Osamu Nakamura

水と土の芸術祭2018 市民アートプロジェクト2018 photo: ISOMI MORE SUP-STORE

参加アーティスト 井川 悦光、ISOPP、土谷 亨(KOSUGEI-16)、友成 麻穂子、野村 誠、ハヤシ ヤスヒコ(パッモデル)

## SYMPOSIUM シンポジウム

「自然との共生」を大きなテーマに、オリンピック文化プログラムや新潟開港150周年などと関連させた「水と土」に相応しい、新潟らしい魅力の発信と地域活性化につながるトークイベントを開催します。

水と土の芸術祭2018 photo: Osamu Nakamura

第1回シンポジウム  
アートプロジェクトの関わり方～アートで社会の“境界”を超える～  
■8月19日(日)15:00～ ■米塚メッセ新潟コンベンションセンター・中会議室

第2回シンポジウム  
食文化による地域づくり～郷土食の再生からの地方創生～  
■9月2日(日)14:00～ ■米塚メッセ新潟コンベンションセンター・ホール

みずつち座談会  
芸術祭参加アーティストと各分野で活躍する有識者による座談会式トークを4回開催

## にいがた JIMAN

「食」「農」、「伝統芸能」「おどり」など、新潟市の誇る豊かな文化をPR。「水と土」によってもたらされた新潟の宝物を自慢します。さらに、アーティストが新潟の魅力を引き出すワークショップも実施。メイン会場には、芸術祭公式ショップもオープンします。

水と土の芸術祭2018 photo: Osami Nakamura

水と土の芸術祭2018 photo: Osamu Nakamura

水と土の芸術祭2018 photo: Osamu Nakamura

吉野 悠枝 photo: アートミックス ジャパン実行委員会

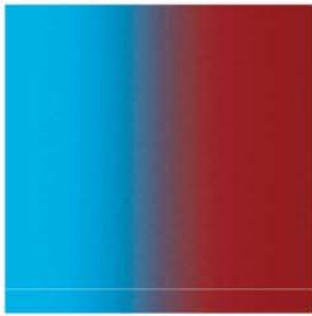
食と農  
新潟の水と土の恵みである食を通して、新潟と出会う30日

ショップ「橋、私。」  
新潟らしい「はしわたし」をテーマにした、ウキウキするバス7型のお店

アーティストパフォーマンス  
参加アーティスト：大友 良英、藤田 大(マームとジブーン)

伝統芸能「おどり」  
新潟の水と土が育んだ多彩な伝統芸能を披露





# 水と土の 芸術祭

Water and Land  
Niigata Art Festival 2018

# PASS PORT

パスポート

## 好評販売中

**水と土の芸術祭とは** 新潟市の水と土によって形成された、独自の風土や文化に光をあてることで、人間と自然との関わりかたを見つめ直し、未来を展望していくヒントとなるものを探る芸術祭です。また、アートを媒介することで、先人たちが築きあげてきた水と土の文化を、国内外に発信し、次の時代を担う子どもたちに伝えていきます。4 回目となる今年の芸術祭は、信濃川の河口、新潟西港に位置する万代島多目的広場をメイン会場に、国内外のアーティストが新潟市中央区を中心にアート作品を設置するほか、市内全域で市民によるアート、食、芸能、まち歩きなど、新潟の魅力を伝えるさまざまな催しを行います。

会 期 **2018.7.14 | 土 | - 10.8 | 月・祝 |**

展示会場 万代島多目的広場、ゆいぽーと ほか新潟市全域

パスポートは会場ごとの単館チケットを購入するよりも **お得に楽しめます!**  
開幕までに購入できる **前売りパスポート**はさらにお得!!

### パスポート料金

※再発行・交換・払い戻しはできません。  
なお、身分証の提示を求める場合があります。

区分	前売料金 7.13 (金)まで	当日料金 7.14 (土)以降
一 般	1,200 円	1,500 円
学生・65 歳以上	800 円	1,000 円

※中学生以下、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを提示した方及び介助者1名は 無料



パスポートイメージ

### アートプロジェクト 作品展示会場

■ 有料会場 ■ 別途要入館料 ※屋外展示作品は無料となります。  
詳細は、水と土の芸術祭 2018 公式ホームページまたは 6 月発売予定の公式ガイドブックをご覧ください。

万代島エリア	砂丘エリア	鳥屋野島エリア	その他 (秋葉区・西蒲区)
メイン会場 ■ 大かま 万代島多目的広場 ■ JR新潟駅 ■ 信濃川やすらぎ堤	サテライト会場 ■ ゆいぽーと 新潟市芸術創造村・国際青少年センター ■ 新潟市美術館 海の庭 山の庭 ■ 北方文化博物館 新潟分館 ■ 砂丘館 ■ NSG美術館 ■ 旧齋藤家別邸 ■ 関分記念公園 ■ 安吾風の館 ■ 西海岸公園	■ 天寿園 ■ 旧栗ノ木排水機場 ■ 清五郎湯	■ 新津美術館・前庭 ■ 上堰潟公園 ■ 角田浜

### パスポート特典

※パスポート1枚につき、記名した1名様限り有効。有効期限及び回数は、各施設によって異なります。

本パスポートの提示で

旧齋藤家別邸、北方文化博物館新潟分館  
団体料金にて入館可

有料会場3か所のスタンプを押した本パスポートの提示で

新潟市水族館〈マリニピア日本海〉入場無料、新潟鉄道資料館 観覧無料  
新潟市歴史博物館〈みなとびあ〉常設展 観覧無料、旧小澤家住宅 観覧無料

### パスポート販売場所

先行販売 **4.25 (水) -**

セブンチケット (引換券販売)、チケットぴあ (引換券販売)、新潟市各区役所  
新潟市東京事務所、水と土の芸術祭 2018 実行委員会事務局 (新潟市文化創造推進課内)

一般販売 **5.10 (木) -**

上記先行販売場所に加え、新潟市内文化施設、プレイガイドなど